

## ■はじめに

急速な人口減少と、少子高齢化が進む「地域」。その地域では、人材の不足により維持すらままならない時代を迎えています。地域への愛着はどうでしょうか。人が流出するきっかけは、進学と就職が二大要因となっており、「地域で生きる人生」を選択する人が少なくなっている現状があります。

このような中、とても力強い動きが地域の中で生まれています。それは、「高校」が地域づくりの核となり、若い視点でとてもポジティブな取組を展開し、地域に明るい光を与えているというものです。若者にとっては、地域を深く理解して課題を知るとともに、地域の中で自分の立ち位置がとても重要であることを自覚する「気づき」のきっかけとなっています。そして郷土への愛着が生まれ、活性化に向けたやる気の原動力になっています。

今号では、このような地域づくりと人づくりを押し上げる「高校」について、先進的な取組をご紹介します。

少子化に伴い、分校化や募集停止の危機にある学校があります。そこで、この地域にしかできない特色ある教育をもとに、全国から若い人材を呼び込んで、次の時代を支える優れた人材を養成する取組も始まっています。

(研究員 和田 健太郎)

## ■表紙のこぼ

高校には個性を活かす専門コースがありますが、卒業後の進路を考えると不安になってなかなか絞れません。好きであれば興味も湧き成長も早く、希望の光を見つけて早く目標に達成できると思います。専門コースでは若いうちに本物を体験し、社会と関わり、職人技術を身に付けることができます。また、医療について学ぶということは大切な命を預かり、責任も問われます。仲間といっしょに苦しみ、笑い、励まし合って青春を送ります。

私は美術科を専攻してよかったと思っています。目標に向かって、夢中になれたことを誇りに思っています。

柳原あや子



## ●アングル

町民を本気にさせた発表会

樋田 大二郎／青山学院大学教育人間科学部教育学科 教授…………… 1

## ●特集／地域づくりと人づくりを押し上げる「高校」～"魅力を発信"地域の中心に高校がある～

### ①地域課題解決学習の取組

～高知県立大方高校の場合～

畦地 和也／高知県黒潮町 教育長…………… 6

### ②商いと地域コミュニティの融合

～高校生が商売の腕を競い合う「商い甲子園」～

松本 健／全国「商い甲子園」実行委員会 実行委員長…………… 8

### ③人口減少社会における地域を支える人材を育てる

～持続発展可能な地域をつくるユネスコスクール～

高木 潤／岡山県立矢掛高等学校 ESD課長…………… 10

### ④農業の人材育成の拠点に

～地域から発信、単独校の夢の挑戦～

小侯 秀之／大分県立久住高原農業高等学校 校長…………… 12

### ⑤地域を愛し地域から愛される学校を目指して

～地域活性化活動を核とした学校づくり～

吉住 牧人／愛媛県立今治北高等学校大三島分校 教務主任…………… 14

## ●研究員報告

地域の特色ある教育で次の時代を支える人材育成

～SBP(ソーシャルビジネスプロジェクト)の取材より～

和田 健太郎／(公財)えひめ地域政策研究センター 研究員…………… 16

## ●地域おこし協力隊 リレーレポート

三崎高校の中にある公営塾、そこから目指すところ

長瀬 智寛／伊方町地域おこし協力隊…………… 20

## ●移住コンシェルジュ通信

地域の取組・移住・住居情報を発信するメディア"LOCAL LETTER"

板垣 義男／えひめ移住コンシェルジュ…………… 22

## ●特選ブログ/shin 1さんの日記

愛媛の高校生とまちづくり

若松 進一／人間牧場主・年輪塾々長…………… 24

## ●"MY TOWN" うおっちゃんぐ

南予の三校に見る、実業学校の時代

岡崎 直司／タウンツーリズム講座主宰・近代化遺産活用アドバイザー…………… 26

## ●まちづくり活動アシスト事業(報告)

伝えるチカラ事業報告～地域の若者のやる気とアイデアを形に～

熊谷 琢磨／NPO法人シルミルのむら 理事長…………… 28

## ●研究員報告

今、ホットな大三島

中川 裕貴／(公財)えひめ地域政策研究センター 研究員…………… 29